

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和6年 2月 29日

事業所名： 児童発達支援 南堀江みつばち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			訓練指導室は45.0㎡あり国の設備基準である児童3.0㎡/1人を活動できる様確保している。又、集団活動、個別療育の場も確保できています。
	2	職員の配置数は適切である	7			10人/1日の職員体制・児童指導員2人、保育士1人配置し療育しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			イラストやホワイトボードを使い、児童がわかりやすく過ごしやすい環境を作っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			毎朝、業務終了後に清掃を行っています。また安心して過ごせる為に消毒などの感染症対策も行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		職員ミーティングを欠かさず行っており、休んでいる職員にも報連相ノートを作成し周知しています。子供達の療育での相違がある時はその都度ミーティングを行い改善しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			評価表にあたっての職員会議を行い、改善に繋がりました。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		今年度ホームページに公表いたします。自己評価表を保護者様へ配布し、自己評価表を元に聞き取りなどをし、今後事業所の改善にあたりたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		利用者様と施設職員との評価となっております。現在区役所主催の地区部会、子供部会の参加をしていますので、今後評価頂き改善につとめます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		同グループ内施設にて研修を行い、各事業所での療育に繋げております。児童発達支援に特化している業者と契約し、より職員の質を高めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			保護者様と面談を行い、ニーズを把握し、行動観察を記録し個別支援計画(案)を作成、スタッフでの会議を開催し、個別支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		外部での発達検査の結果等を参考にアセスメントを作成しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			児童発達支援ガイドラインに則した支援計画をたてています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			個別支援計画に沿った支援を職員全員心がけています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			日々、課題内容、指導方法をミーティングで話し合い、職員共通の目標を持ち取り組んでおります。支援について相違があれば修正しながら支援を行っています。支援のデモンストレーションを行い、職員の役割サポートに努めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			日変り全体プログラムは設定しております。又、内容は年齢、発達に合わせて支援しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7			発達や年齢に応じ、個別課題、集団活動に取り組んでおります。できることを伸ばし、それぞれのニーズに合わせた課題を支援にいられております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝、ミーティング、振り返りを行い、利用者のプログラムを作成、役割分担、支援方法と想定表を作成しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		利用終了後、個人記録を記入しミーティングを行い、反省点、次の支援につなげています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		児童の様子を(個別・集団・その他)と毎日細かく個人記録として残し、それを基にミーティングを行い、次の支援・改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		6ヶ月に1回見直しをしております。	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	毎月、事業所定例会、子供部会は適任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		保健相談所、保育所、幼稚園と連携を取りあっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		保育所、幼稚園、支援員との連携は密にとりあっている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	保護者様と連携を取り合い就学支援シートを活用し情報提供をおこなっていきます。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		職員全員は研修を受けていないので今後計画します。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1	交流活動実績はございません。利用のおお客様のほとんどが保育所、幼稚園に通っていますので、今後交流の機会を作ります。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		時間の合う時は必ず参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		職員全員が子供の事を把握し、子供の様子、課題については共通理解を持ってもらっています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5	研修参加を予定しております。家庭との連携は密に取り合い、家庭での対応等の支援を行っています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時丁寧に説明させていただいております。不明な点があれば随時職員が説明しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		契約時個別支援計画に基づき説明させていただいております。又半年を目安にモニタリングを行い支援内容を把握して頂き、同意を得ています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			定期的に保護者様に話を伺い、訪問や電話相談の時間を設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3		イベント等で保護者間のコミュニケーションを図れるよう企画していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に保護者対応にあたっています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎日の連絡帳で連絡体制はとっています。情報発信はSNSで随時発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			個人情報は鍵付き書棚に保管しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			視覚的教材やホワイトボードなどを利用し、伝達の配慮をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		地域のイベントに参加し、自治会との連携をとっています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			職員会議にて対応方法等の確認を行い、保護者様にも説明しています。マニュアルについては必要に応じて見直ししていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			緊急時の避難訓練を行いました。さらなる内容の徹底や周知が必要と感じたので今後の課題として取り組みます。防災に関する外部研修がある際には参加します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7			保護者記入の健康状況票により把握しています。また必要に応じて聞き取りを行っています。児童の健康上の配慮点・注意点について、職員一人ひとりが意識できるよう確認と周知を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		食事提供はないが、おやつ提供は行っています。今現在では利用者でアレルギー対象児はおりません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			職員ミーティングにて社内研修を行っています。外部研修にも参加していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。保護者様にはそれらを契約書に記載し説明しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。